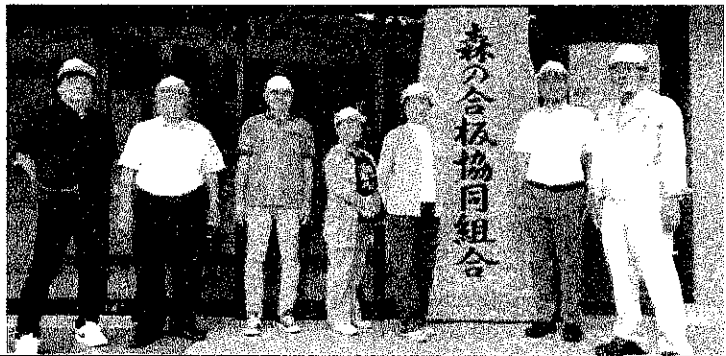


加子母の「森の合板工場」を視察 国産材100% 地元雇用43人、地元へ貢献



9月13日森の合板工場玄関で。右から中野たけしさん2人目、木下りつ子市議3人目。

中野たけし・東海ブロック比例とともに

説明・案内
されました。
この工場は

日本共産党中野たけし・東海ブロック比例は、9月13日加子母地域にある「森の合板協同組合・森の合板工場」を訪問・視察しました。

中野たけしさんは、森の合板工場が平成23年4月より、国内初となる内陸型の合板工場が間伐材を中心に100%国産材を使用し、た製品を製造していることに着目し、人口減少が進む中山間の山村地域を若者の雇用の場として生かすことはできないかと、工場を視察しました。

工場の責任者佐藤さんが

2011年4月操業開始を予定していたが、同年3月の東日本大震災で、同じ西北グループ内の石巻工場が被災し、その従業員40名を受け入れスタートした。現在はほとんどが石巻工場に帰り、地元の労働者43名をはじめ石巻工場2名の社員計45名で24時間体制でフル稼働している。岐阜県材をできるだけ多く使いつながら国産材100%で製造しているとのこと。

まだ拡張したい
とれだけ安定的に
岐阜県材が増えるかです

今後生産を増やしたいが岐阜県材が少なく安定した供給量がないのが課題とのこと。合板は屋根・壁・床材として利用される。杉の合板が多いが、この地域特産のヒノキの合板も製造し高級な合板として使用されています。工場は杉やヒノキの丸太が高く積み、木の香りが漂っていました。製造過程も見せていただきました。丸太は皮ごと6



0℃に蒸され、皮をはぎ、丸太を規格の長さにカット。大きな機械でカツラむきにし、規格の幅にカット。薄くカツラむきにされた板を縦・横交互に接着剤で必要な厚さに貼り合わせる。130℃の高温で圧力をかける。ベニア大にカットし、仕上げる。工場には厚さや材質の違う製品が数多く積みまわっていました。工場の出口では大きなトラックに製品を積み込んでいました。

中野たけしさんは、「三重県の南部は山間部。地場産の木材を使用し、雇用の場を創出できる合板工場が良いと思う。視察させてもらった。今日学ばせていただいたことを生かしていきたい」と決意を述べました。

木下律子中津川市議・党中津川市委員会委員4名が同行しました。

9月議会報告「坂下病院の一般病棟を存続してほしい！」住民の思い届ける

木下りつ子市議は、一般質問で「坂下病院の一般病床の存続を」と質問しました。

坂下病院は公立病院改革プランで32年度には一般病床廃止の計画を国に報告。坂下老健施設を坂下病院に移設するために、7月末までに3階病棟を廃止しました。また医師や看護師や作業療法士などが退職や市民病院に異動しています。

そのような変化の中で住民の気持ちはどうでしょうか。

◆坂下で交通事故2件、うち1件は死亡事故。事故は坂下病院のすぐ近く。坂下病院に運んでもらえたら……

◆坂下病院まで50分も離れていないところで倒れた方がいても市民病院に救急車で運ばれた。命にかかわることであつたらと思うと怖くなる。眼の前に立派な病院がありながら運ばれていくのを見ると悔しい。

◆坂下病院のすぐ近くに住んでいる。子どもが40℃近い熱を出し坂下病院に。時間外で診てもらえなかった。

木下 このように一般病床を残し、住民の声にこたえられるような見直しが必要では？

部長 29年度・30年度の見直しで総合的に判断します。

2面へつづく

鳳仙花（ホウセンカ）

ツリフネソウ科ツリフネソウ属一年草。原産地は東南アジア。開花期6〜9月。

暑さに強く、カラフルな花をたくさん咲かせてくれることから夏のガーデニングプランツとしても人気がある。花弁の形は、カメリア咲き、一重、八重咲きなどさまざま。この花は近所の方から苗をいただいた。花言葉は「触れないで」。

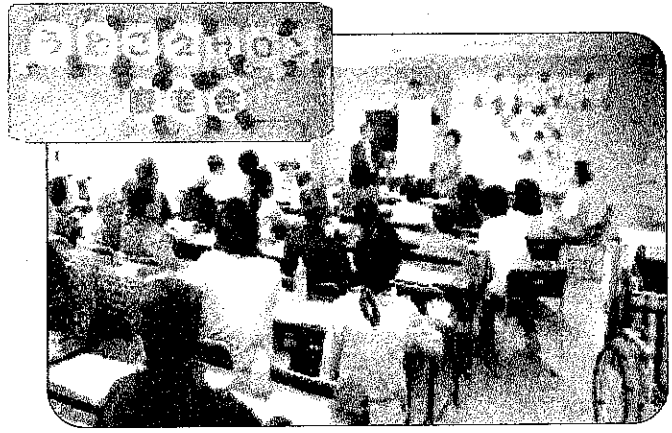


民報なかつがわ

No.335 2017年9月24日
発行：日本共産党中津川市委員会
連絡先：木下りつ子 090-9262-0092
日本共産党中津川市委員会の政策や活動をご紹介します。



苗木・神明神社例祭
9月16日夜宮
巫女の舞を奉納



坂下つたごえサロン「慶会」
カラオケサロンに40名参加
紙芝居「かわいそうなごっこ」も

市民病院・坂下病院を市民の「いのちと健康の砦」にしたい！ 市長の反問に答えます

日本共産党市議会議員木下りつ子

1面

市長

反問権を使います。10年・20年先の坂下病院をどうしたらいいと考えますか？

木下

国の問題だと考えています。が、時間がないので次の機会に議論しましょう。

市長からいただいた反問に答えます

議会改革の取り組みの中で執行部からの反問を認めることになりました。ところが、議員が答えるのに議員の質問時間に含めることになりました。反問なら質問時間に含めるべきではないと思いますが、一人会派ゆえに発言権も決定権もありませんでした。以前にも私に反問がありました。質問が多くなると時間が足りなくなると断りました。今回は、質問時間の残り1分というところでしたので答えることができませんでした。せっかくの質問です。この紙面で答えたいと思います。

10年・20年先の中津川市の医療を考えてみましょう

中津川市は、坂下病院の機能縮小・老健施設の移設の方針を決めて実行中です。

その理由は何か

- ① 今回赤字になった最大の理由は、医師が退職し、その後の医師の確保ができなかった。
- ② 岐阜県が決めた2025年度目標の地域医療計画に坂下病院の見直しと病床の削減があり、その計画を先取りしました。

その背景は何か

① 医師の確保が困難というのは、日本の医師数がOECD加盟国の平均より1

減らしているのです。

上げではなく、ヨーロッパのように国の負担で医療費の無料化をめざします。



どう解決するか

- ① 医師をOECD並みにするには、国の予算を投入して医学部定員を1.5倍にする必要があります。国の責任で不足する地域に医師を派遣・確保します。
- ② 病床を無理やり削減するのでなく、必要な病床を確保します。入院してもすぐに退院を迫るのでなく、必要な医療が受けられるようにします。
- ③ 保険料や窓口負担を市民への負担引き
- ④ 財源はどうするか。税金の集め方と使い方を抜本的に変えます。集め方は、内部留保400兆円もため込み、税金を優遇されている大企業や大金持ちからしっかりと。使い方は5兆円を超えた軍事費や大型公共事業を見直し、医療や社会保障、くらしに回します。
- ⑤ 10年・20年先には自民・公明政権ではなく、市民の思いが反映する政権や中津川市政になっていると思います。

さらに医療費を削減するために、窓口負担を高齢者は2割・3割にする。医療費の最高限度額を引き上げて入院負担を高くして外来も入院もかかりにくくしようとしています。今でも年金や所得が減少し、入院できなくなってきたのに。また入院していてもすぐに退院を迫られます。できるだけ入院する日数を

訂正のお願い
先週のNo334の2面下段の後から9行目「戦闘機」を「爆撃機」に訂正し、お詫び申し上げます。